

## 線形代数学 II No.13 要約

今日のテーマ: 行列の Jordan の標準形

今回も引き続き、行列は複素数体  $\mathbb{C}$  上で考える。

**定義 13.1.** 行列  $A \in M_n(\mathbb{C})$  が2つの行列  $A_1, A_2$  の直和であるとは、

$$A = \begin{pmatrix} A_1 & 0 \\ 0 & A_2 \end{pmatrix}$$

とブロック区分けされる時にいう。

**定義 13.2.**  $J_k(\lambda) = E_k + \lambda N_k$  の形の行列を Jordan 細胞という。 $(N_k$  については前回の定義を参照。)

**定理 13.3.** 任意の行列はジョルダン細胞のいくつかの直和と相似である。  
(行列の Jordan の標準形)